

旧齋藤家別邸 管理運営についてご意見を伺う会

2015年12月17日 13時30分～

旧齋藤家別邸 1階大広間

出席者

ご利用者： 1名

庭園アドバイザー： 宇田川宏

オブザーバー： 新潟市中央区地域課 新潟市歴史文化課

指定管理者： 館長 西澤正恒 副館長 波多修榮智 横木剛

庭園管理者 中川良文

(株)新潟ビルサービス 鈴木恵子 グリーン産業(株) 長谷川均

1. 開会あいさつ（西澤）

2. 当会の進行予定と注意事項の説明（横木）

まず、指定管理者より配布資料に沿った四半期の報告を行います。その後、ご出席の皆様からご意見を承ります。

なお、この会は、ご利用いただいている皆様が日々感じていらっしゃるご意見やご要望を承る会です。この場での討議や決議は行いません。いただきました内容は今後の管理運営に活かし、その内容は適宜今後のこの会にて報告をします。

3. 平成27年度第三四半期のご報告（西澤）

配布した資料（別掲）の読み上げ

4. 皆様からのご意見

- ・この会の名前がわからない。

また初めての参加者は前に座っている人が誰だかわからない。

→この会は「管理運営についてご意見を伺う会」と称します。市民の方の自由参加型。公開で行い、議事録も公開します。今後は会を始める前に自己紹介をします。

- ・苔の後退と雨水による表土流出とはどういうことか。

→2月から3月に行われた庭園整備工事で大きな樹木が伐採され、地面に直接日光や雨が当たるようになった。そのため苔が枯れたり傾斜地の土が流れてしまったりしている。

- ・苔のために庭園管理業務で散水しないのか。

→散水は毎日実施していた。ある程度光をさえぎらないと苔は維持できない。

- ・2月に発注したのか。伐採することのリスクは考えなかったのか。発注者は誰か。

→昨年度の発注工事で完了も昨年度。その影響が数ヶ月後の夏の時期に出た。発注者

は新潟市。庭園整備の委員会で方針を検討し「作庭当初に戻す」ということで伐採した。我々管理者ではわからないがリスクまで考えが及ばなかったのだと思う。

- そういった別工事で改変されたリスクまで日常管理者が負わなければならないのか。
→日々のことなので庭園を守るために出来る限りのことはしている

- ボランティア茶会について。

ボランティアさんは熱心な人が多かった。無償なのか、何か感謝のアピールは？

→日々の活動には交通費を補助している。他に謝恩茶会の開催、ボランティアさん向けイベントなど楽しんでいただけるものを企画している。

- 松鼓庵の利用が少ない。

高齢者でも上りやすい通路をつけることはできないのか。

→改変には文化財的価値を考慮することも必要。松鼓庵は呈茶の会場として使うこともあり、茶会で借りる人もいる。

利用が増えるようお茶をやっている若い人に使ってもらえるよう声をかけている。松鼓庵ではないが当館は煎茶の趣きの部屋がある。煎茶の会の方が好んで使ってくださっているのはここならではと思う。